

福井大学感染特別警報のお知らせ

学生の皆様へ

本学学生諸君には、パンデミック(新型コロナウイルス感染症)の中、日頃勉学に励み、部活などの課外活動も、厳しい環境下、可能な限り積極的に行い、頼もしく思っています。

さて、本学は、4月23日(金)より、5月16日(日)の間、「福井大学感染特別警報」(以下特別警報)を発令します。

我が国では、第三波迄の若年者の感染しにくさは影を潜め、若年者を含めてPCR検査陽性者が増加しており、これは、本学での経験のとおりです。その要因としては、ウイルスの変異の結果生じた感染のし易さ、毒性の強さの変化が大きく、相撲に例えれば、相手が前頭から横綱、大関級に進化したと考えて下さい。残念ながら今のところ、横綱変異ウイルスに対する新しい劇的な対処法はなく、だからこそ、本特別警報等で述べる、当たり前かつ基本的な対処法を必ず頑なに守ってください。それにより、しっかり感染を回避することで、皆さんは自身の罹患、重症化、長期の予期せぬ後遺症を免れ、周囲にいらっしゃる皆さんにとって大切なご家族やご友人・高齢者や年少者ひいては一般市民の方の感染をできるだけ防ぐことができます。おそらく現在ワクチンの接種は最も有効と思われませんが、皆さんへの接種までしばらくの時間を要します。それを期待しつつ今しばらくの、ご協力をお願い致します。

学長 上田孝典

福井大学感染特別警報

【期間 令和3年4月23日(金)～令和3年5月16日(日)】

- ・ 面会時、絶対にマスク着用、面会後は、手指消毒
- ・ 学生・教職員全員で感染対策徹底（リスク分類・年齢にこだわらず）
- ・ 基本の感染対策を地道に徹底（感染予防の王道なし）
- ・ 同居家族以外との会食は必ず4人以下で。飲食中に会話する場合は、マスク着用
- ・ 県外の不要不急の往来は自粛（特に、緊急事態宣言発令地域）
- ・ 体調・行動歴の記録
- ・ 警報発令中も、福井の知(地)の拠点を守り抜く

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に数層などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事と比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしで近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、寝カライオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることがある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。

